



## 2回目の「あさなえホップ」開催

先日発行した「ほけんだより第5号」にて、第1回学校保健安全委員会の様子をお伝えしたところですが、当日は、学校保健安全委員会後、同会場にて「あさなえホップ」を開催しました。本年度の「あさなえホップ」は、あさなえ学園家庭教育支援チームと本校の西谷養護教諭が思いを共有しながら計画し、保護者の学びの場の提供や、参加者同士で気軽に悩みを共有したり、相談したりできるような場づくりを行っています。

「あさなえホップ」の1回目は、6月14日に実施しています。

### <当日の様子>

#### ①校内の見学会（授業参観）

参加者全員で、校内を見学したり、授業を参観したりしました。昨年度から新型コロナの影響で、感染対策を考えると、参観日の設定が容易でない状況ですが、この度の「あさなえホップ」では、少人数ということで、校内の見学、授業参観を実施しました。



「あさなえホップ」のコンセプトは「気軽に、構えず、リラックスして参加できる会！」です。この度は、実際に日頃の授業の様子や実際の子どもの姿を見た上で、意見交換をすることができたので、会話が一層盛り上がりました。

#### ②子育て悩み相談会？（意見交換・情報交換会）

子育ての悩みや日頃の困り事などを、参加者と家庭教育支援チームのメンバーとで共有しました。日頃、気軽に話すことが難しい話題でも、家庭教育支援チームのメンバーが入ることで、安心して話をすることができます。子育ての悩み・困り事等、話題として取り上げにくい内容でも、ここではリラックスしながら話をする事ができる雰囲気でした。小グループでの話合いでは、同時刻に授業がなかった教員が飛び入りで参加し、参加者の悩みや困り事を聞く場面もあるなど、ほっこりした時間が流れていました。



#### 【参加して下さった方の感想（一部）】

普段先生方や保護者の方々とお話する機会がないので、今日はとても有意義な時間でした。学校の雰囲気や様子もわかり、今までより身近に感じる事ができました。ありがとうございました。

子どもたちの様子を見て、家での事や部活・進学・高校生になってからの様子についても話題になりました。

今日は少人数のグループで普段はなかなか言い出しにくい本音が言えたりして、皆さんとお話できて本当に良かったです。

浅江中学校は、「学校を核とした地域づくり」を学校運営の一角に据えています。家庭教育支援チームが計画、実施に関わる今回の取組は、浅江地域の浅江地域による子育て支援活動です。難しく考えず、親同士や親と地域がつながる機会を生み出すことで、浅江地域の子育て世代の悩みや課題を解決する糸口にしようとするこの取組は、浅江中学校をつながりの場とする地域づくりにもつながっています。これこそ「学校を核とした地域づくり」の取組の一例です。